

2022.02.28 全校朝会講話

JICA(ジャイカ)「地球ひろば」にいってきました！

校長 松本 雅史



先日、私は新宿区の市ヶ谷というところにあるJICAの「地球ひろば」にいってきました。JICAは、世界の困っている地域や地球規模の様々な問題を解決するために、日本と世界の国々とを結んで、協力や援助を行なうところでです。「地球ひろば」は、そうしたJICAの取組や世界の様々な問題について広く知つてもらうための展示や講演会などを行なっています。私は、じっくり展示を見てきました。今朝は、その中で印象に残つたことをお話しします。

まず、世界ではまだ学校に行けない子どもが多いということです。世界では、約5900万人の子どもたちが学校に通えず、7億8100万人の人が読み書きできないと言われています。こんな展示がありました。アフリカのブルキナファソという国でのことです。おなかをこわして薬を飲みたのですが、3つの薬があつてどれかよく分かりません。ラベルに文字が書いてあります。現地のことばわたしわおもてとはんたいがわみのうやく言葉ですから、私も分かりません。これかな?と思ってビンを手に取つて反対側を見たら「農薬」とかいてありました。こんなものを飲んだら死んでしまいます。文字を読めない恐ろしさを実感しました。

また、フードマイレージとい展示がありました。フードマイレージとは食べ物がどこから來るのかということです。遠ければ遠いほど、運ぶのにエネルギーを使つてしまします。運ぶための燃料は主に石油です。私たちはたくさんの食物を外国から買つていますが、それは同時にたくさんの石油を燃やしていることでもあるのです。驚いたのは、タコでした。タコは日本のものだけでなく、外国からもきていました。どこだと思いますか? 地球の反対側、モーリタニアというアフリカの国でした。私たちの豊かな生活は、たくさんの石油を燃やすことで支えられているのだと改めて思いました。

「地球ひろば」で、SDGsに関するチラシや冊子もいただきました。新校舎に掲示しておきますので、よかつたら見てください。「地球ひろば」は入場無料です。でもお休みの時があるので、調べてからいくといいです。「地球ひろば」のある市ヶ谷は、花小金井からだと電車で1時間くらいです。これからゴールデンウィークも始まります。おうちの人に連れて行っていただくといいですね。これで今朝の話を終わります。